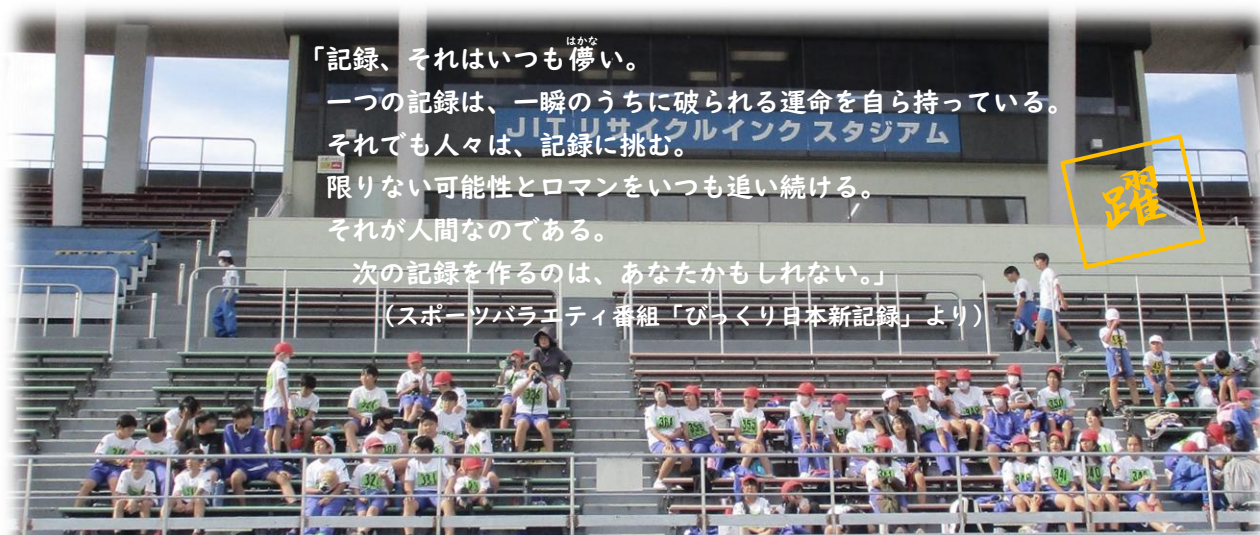




ほたるっ子

No.8 令和7年11月21日 文責／古屋正樹



「記録、それはいつも儚い。
一つの記録は、一瞬のうちに破られる運命を自ら持っている。
それでも人々は、記録に挑む。
限りない可能性とロマンをいつも追いつける。
それが人間なのである。」

次の記録を作るのは、あなたかもしれない。」
(スポーツバラエティ番組「びっくり日本新記録」より)

走・跳・投 ～より速く より高く より遠くへ～

11月6日、心地よい秋空のもと、昭和・中央の6年生による「陸上記録会」が行われました。JITリサイクルンクスタジアム(小瀬陸上競技場)を会場に、9校の6年生約430名が一堂に会し、熱戦を繰り広げました。

運動会が終わってから本格的に練習を開始し、一人ひとりが目指す「自己ベスト(目標)」に向かって直向きに練習する姿は、1学期とは違う一回り大きく成長した姿に感じました。

記録会当日は、やや緊張した面持ちで会場に乗り込みましたが、各自が持てる最大限の力を発揮できたと感じています。自己ベストが出せれば最高なのでしょうが、それだけにとらわれず、陸上運動に精一杯取り組めたこと、仲間と共に活動する時間がまた一つ増えたこと、他校の友だちと触れ合えたこと、陸上競技場という特別な場所で経験できたことなど、たくさんの収穫があったと思います。

保護者の方々の参観もあり、また一つ大切な行事(経験)が実現できたことをうれしく思います。





～ 道徳授業公開・教育を語る会 ～

今年度も、町道徳教育推進事業の一環として、授業公開及び講演会を開催いたしました。各学年のねらいとする道徳的価値として、「生命の尊さ」を中心価値に据え、授業を行いました。

かつての道徳は、「読み物教材」などを通して主人公の気持ちを考えようといったものが多かったのですが、今では、「考え、議論する」道徳となり、問題解決的な学習へと変わってきました。一人ひとりが自分事として、激動の時代を生きていくうえでの基盤となる道徳心を養うことを、現在の道徳では目指しています。

子どもたちの学びは、一朝一夕に創られるものではありません。特に、道徳心はじっくりと時間を掛けて創り上げられるものなのです。

授業後に行われた教育を語る会では、山梨県スクールカウンセラー：内藤雅人先生をお招きし、「親子の絆で不安を乗り越えよう」と題してご講演いただきました。昨今、複雑多様化している世の中、大人も子どももその影響を受け、少なからず不安を抱いていることでしょう。そんな時だからこそ**愛着（絆）**が大切であると、内藤先生から教えていただきました。親子で、さらに強固な愛着（絆）を創り上げていただきたいと願っています。



【 ゲーム・ウォークラリー 】

西条小児童会の伝統的な活動である「ゲームウォークラリー」が開催されました。この活動は、児童が主体となって行い、縦割り班の活動を通してお互いのつながりを深めることを目的としています。

今年も、子供たちの工夫が随所に見られ、班の仲間と思い切り楽しんでいました。全校みんなの笑顔が弾け、大いに楽しい時間を送りました。また一つ、1年生から6年生までの「絆」が深められた活動となりました。



【 学校創立記念日 】

11月15日は、学校創立記念日でした。今年で42回を迎えました。

本校は、昭和59年4月3日に開校し、同年11月15日に校歌と校章を制定し、その日を学校創立記念日としました。

西条小の歴史と伝統は、地域の方や卒業された方のたゆまぬ努力によって築き上げられてきたものであると感じずにはいられません。



<下校時刻の目安>

*学校を出るおよその時刻です。日によって多少前後しますのでご了承ください。

月：1～3年 15 時頃、4～6年 16 時頃

火：1 年 15 時頃、2～6年 16 時頃

水：全学年 15 時

木：1～2年 15 時頃、3～6年 16 時頃

金：1～4年 15 時頃、5～6年 16 時頃